

令和8年度 合同応急給水訓練

6月5日金曜日、合同応急給水訓練を行いました。

この訓練は、災害時や大規模漏水等の非常時を想定し、職員の危機対応能力の向上を目的に毎年実施しています。

昨年に引き続き、臼杵市、津久見市にご参加いただいたほか、今年は新たに大分県薬剤師会検査センター様にもご参加いただきました。

さらに、今回は初めて医療機関の西田病院様にもご協力をいただき、多くの病院スタッフの皆様にも給水体験していただくなど、より実践に近い訓練を行うことができました。

訓練シナリオ

地震発生：訓練前日の6月4日、豊後水道を震源とする震度6の地震が発生。

被害状況：坂の浦配水池系統「コスモタウン」付近の配水管が損傷し、大規模な断水が発生。

給水要請：「西田病院」から井戸水に濁りが発生し水が使えないため、応急給水してほしいとの要請が入っている。

応援・受援：佐伯市水道課から応援要請し、臼杵市、津久見市、大分県薬剤師会検査センターから支援可能の連絡を受け、受援体制を整えて、「西田病院」への応急給水を開始する。

訓練の様子



全体ミーティング



給水塔からの注水準備



給水車（薬剤師会）へ注水する手順を確認



給水車（臼杵市）から西田病院受水槽へ充水



組立式給水タンク（津久見市）に充水



40人もの病院スタッフの方に給水体験をしていただきました

大きな災害が発生し、被災する施設が多くなった場合には、ただ水を運ぶだけでなく、各施設の水の使用量に応じて給水車の台数や巡回ルート进行调整していく必要があります。

今回の経験や課題を、今後の災害対策や、近隣自治体との受援体制の強化に活かして、どのような状況にも柔軟に対応できるように防災力を高めていきたいと思ひます。

市民の皆様におかれましても、日頃からの備えを引き続きお願いいたします。